レジャーダイバーの皆様へ

水中ガイドの役割

ダイバーの皆様にガイド付きダイビングをより安全に楽しんでいただくために、私たち水中ガイドが果たす役割を明確にお伝えするものです。「水中ガイドの役割」はレジャーダイビング認定カード普及協議会（C カード協議会）の監修と協力支援のもとに承認されて周知と広報を行ないます。

公益社団法人日本レジャーダイビング協会

1 **水中ガイドとは、特定のダイビングポイントに関する楽しみ、危険性をダイバーの皆様にお知らせし、そのダイビングポイントの水中をご案内する業務をいいます。私たち水中ガイドは、水中ツアーにご参加いただく皆様が、ダイバーとしての知識とスキルを修得し維持できていることを前提にしていますので、皆様の知識、スキルなどを補うことをその役割とはしておりません。**

2 **ドリフト、ナイト、ディープ等の別に設定された知識、スキルが必要となるダイビングにおいては、皆様の安全を確保するために、そうした分野の知識とスキルを修得されたダイバーの方のみを、水中ガイドいたします。ご希望される場合は、コース等で事前に必要となる知識とスキルを修得されたうえで、ご参加いただきますようお願いたします。**
具体的な役割には、以下の内容が含まれています。

（1）一般的なコンディションとダイビング実施日のコンディションをご説明します。
『コンディションの例』
- 水底の構成物（砂・岩盤・珊瑚他）や形状
- 水温
- 潮流の有無・向き・速さ
- 深度の幅
- 透明度
- 避けるべき水域とその理由

（2）ポイント特有の危険性と、ダイビング実施日の特別な危険性を紹介し、その回避方法をご説明します。
『危険性の例』
- 天候や海況の変化予測
- 潮流の強さと変化
- 水面の危険性（船舶の往来他）
- 危険な生物
- 危険な構成物（吸・排水口他）

（3）ガイドするダイビングポイントのコンディションに適したテクニックをアドバイスいたします。
『テクニックの例』
- エントリーとエキジットの方法
- 浮上の手順
- 緊急時の対応テクニック
- 水中移動の方法
- 特有の意思疎通テクニック

（4）当日のダイビングに必要となる器材がある場合は、その器材をご紹介します。
『特別な器材の例』
- シリンダーのサイズ　空気　ミックスガスの選別
- 保温・保護スーツ及びフード・グローブ・ブーツ
- シグナルフロート
- 水中ライト
- フィンのブレードの強度
- バックアップ空気源
- マーカーブイ
- 他

公益社団法人 日本レジャーダイビング協会
レジャーダイビング認定カード普及協議会